

【R1:先-22】倉敷市中心市街地スマート・パークアンドライド+ウォーク実証調査

実施主体(岡山県倉敷市)

倉敷市基礎情報
 人口:約482,099人
 (令和2年2月末現在)
 可住地面積:355.63km²
 (平成30年10月1日現在)

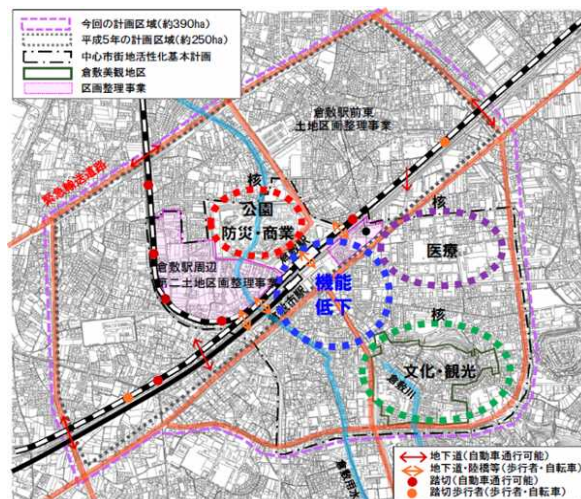
【事業分野:駐車場・駐輪場、エリアマネジメント】【対象施設:中心市街地】

調査のポイント

- 市街地中心部への車両流入を抑制し、回遊性を高めるための施策検討に役立つ官民データの収集と分析方法の検討
- 官民連携データプラットフォームの運用および汎用性の検討

調査対象区域の概要

- 倉敷駅の周辺では、JR山陽本線や駅で中心市街地は南北に物理的に分断されており、鉄道を横断する動線が少なく、踏切には交通が集中し道路は混雑している。
- 休日や観光シーズンには道路は南北に慢性的に混雑し、まちなか駐車場も満杯状態が続き、市民や観光客の快適な来訪や回遊が阻害されている。
- 倉敷駅周辺への快適なアクセス環境の創出や公共交通の利用促進等による交通混雑や駐車場不足の解消が必要であり、将来的には駐車場等の都市機能の集約や最適配置が必要である。



事業発案に至った経緯・目的

中心市街地活性化の成果として、外国人を含む観光客が大幅に増加し、賑わいが生まれているが、駐車場不足、宿泊施設不足、回遊ポイントの偏り等による全域で受益が出来ていない。駐車場不足で約3割の来訪ロスが発生中との調査結果もある。

倉敷駅周辺総合整備計画はもとより、現在策定中の立地適正化計画においても、土地利用の高度化を目指しているなか、中心市街地内に小規模駐車場の乱立が発生している。

解決策

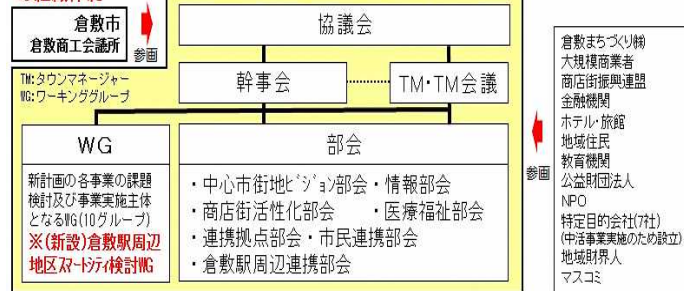
官民連携により客観的なデータ分析に基づく、駐車場の最適配置や公共交通の利用促進、観光客によるまちなか回遊の促進等の施策実施とその実施主体となる官民連携組織の編成が必要

官民連携プラットフォームの形成(体制の整備)

倉敷市中心市街地活性化協議会にスマートまちづくり検討ワーキンググループを設置

倉敷市中心市街地スマートまちづくり検討ワーキンググループ	
学識有識者	環境理工学部教授, 准教授
民間事業者(本事業受託者)	高梁川流域圏のオープンデータ活用推進を担う組織 → 一般社団法人 データクレイドル
民間事業者(観光)	旅館業・観光業・飲食店・土産製造物販 (15社)
民間事業者(交通)	運輸 (20社)
市	まちづくり推進課, 他施策に応じて他部署参画

産学官連携の組織体制



【R1:先-22】倉敷市中心市街地スマート・パークアンドライド+ウォーク実証調査

実施主体(岡山県倉敷市)

倉敷市基礎情報
 人口:約482,099人
 (令和2年2月末現在)
 可住地面積:355.63km²
 (平成30年10月1日現在)

調査の流れ(R1年度)

官民連携組織編制

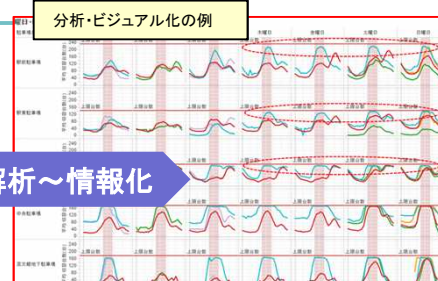
民間事業者や学識経験者参画

データ収集検討

データ収集のための計測・調査

データ分析・解析～情報化

交通混雑・渋滞、駐車場不足、観光客の回遊促進に活用できるデータの収集・分析



官民連携データプラットフォーム検討

高梁川流域圏インテリジェントICT事業で構築した「倉敷版官民データ活用プラットフォーム」を官民連携データ基盤として活用

高梁川流域圏インテリジェントICT事業で構築したデータ分析サロンやEラーニングを活用してデータに基づくビジネス創出を支援

- 【駐車場】入出庫データ分析
- 【車両】道路交通センサス、車番解析データ分析
- 【人】通行量調査、人流解析データ、パブリックライフ調査データ分析

客観的なデータ分析に基づく施策づくり

- 美観地区最寄りの駐車場である中央駐車場は、土曜日および日曜日の10時～16時が通年満車傾向にあり、中央駐車場の入出庫口が面している駅前古城池霞橋線も同様の混雑傾向にある。
- GWのイベント時には美観地区直近の駐車場は満車状態が続くが、適切な誘導とシャトルバス運行などの施策を実施すれば駐車場混雑は緩和できることが確認できた。
- 倉敷市中心市街地エリア南縁にある芸文館地下駐車場は平日の利用数は少ない。
- 倉敷市中心市街地エリア東縁にある倉敷中央病院駐車場は診療日ではない休日は駐車スペースに余裕がある。

今後の進め方(R2-R3年度)

事業主体の官民連携組織
立ち上げ・運営

まちなか回遊を促進するイベント開催

データの情報化による
まちづくり施策実施

小規模駐車場集約、
駐車場最適配置の検討

官民連携データプラットフォーム
汎用化・運営

分析・予測の精度向上に向けた
データ収集の継続・拡充

パーソナルデータを含め汎用性のある
データマネジメントルール作成

データ活用人材の育成

データ収集・分析・予測支援サービス化
他都市・地域へ横展開

データの情報化によるまちづくり施策(今後の取組み)

- データの情報化
 - ・都市情報に係るデータの継続的収集
 - ・データ活用運営体制およびルールの確立
 - ・データ精度の向上と継続的収集、データ活用人材の育成

■交通混雑抑制のための車両と人の誘導試行

【車両誘導計画】 フリンジ・パーキングを活用し、倉敷駅前及び美観地区近くへの車の流入を抑制し交通混雑緩和を図る。

【人の誘導計画】 各駐車場から美観地区への円滑な誘導を行う。また、町並みが美しく、クラフトショップなどが増えつつある倉敷市中心市街地エリア東側地域への店舗立地、新たな集客ゾーンの設置を行う。

■市街地活性化施策への活用

■市街地の都市生活環境向上施策への活用

